

(3)中流右岸域の公園整備の今後の進め方

1

① 中流右岸域の課題

2

中流右岸域の課題

1) 淀川河川公園全体における中流右岸域の検討課題

全流域の共通課題を各流域で担当するテーマとして設定し、集中的に検討。その結果を、基本的な考え方としてまとめ、他の流域に応用し、整備計画の事業化の適正化を図る。

テーマ	モデル流域	モデル流域設定の理由
行為許可	下流域	<ul style="list-style-type: none"> 下流域は相対的に利用密度が高く、迷惑行為等の苦情も多く、またBBQ等の利用も盛ん 「たまり」のある自然空間を営造的に整備しきらず供用する地区があり、安全性を確保した新しい利用ルールの検討が必要
誘導	中流右岸域	<ul style="list-style-type: none"> 交通量の多い道路で公園と後背地域が隔てられた地区が多い。また各地区への経路が分かり難い 地域住民が主体となり、行政を巻き込んで河川公園への安全な動線を考えるワーキングを設置している
親水	中流左岸域	<ul style="list-style-type: none"> 淀川本川の中で、地元住民による水辺空間の利用が最も盛んな地区がある 「高水敷の切り下げ」が含まれている数ある地区において、その後の管理を市民参画で検討しうる場所
施設活用	上流域	<ul style="list-style-type: none"> 三川合流域サービスセンターが平成29年春に供用を予定し、三川合流域の地域振興の起爆剤として期待 SC等の公園の施設ストックの効果的な利用と運営、適切な維持管理が求められている
植生	全流域	<ul style="list-style-type: none"> 公園の維持管理費の中で植物管理がウェイトが最も高い。一方、新規地区の開園はこれからも必要 公園利用の安全性・快適性の維持と植物管理コスト抑制の両立は、公園全体で共通した重要な課題

中流右岸域の課題

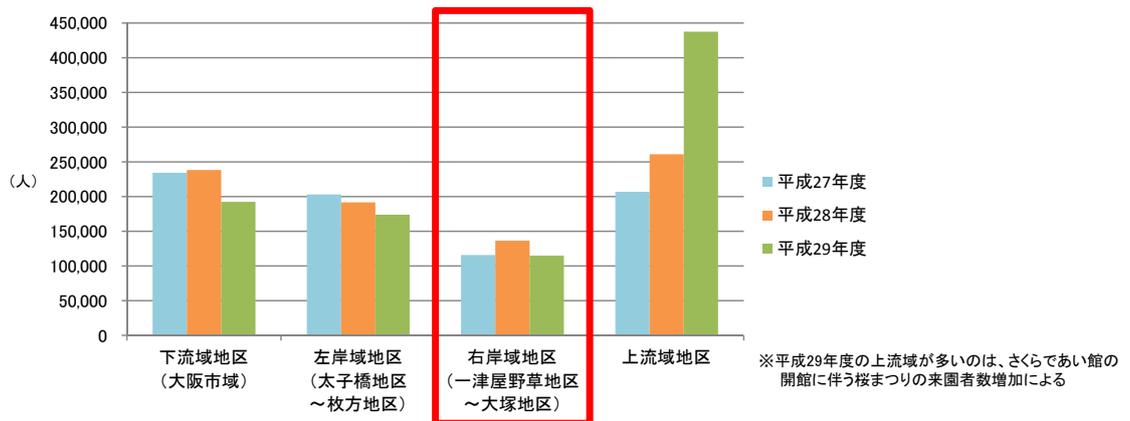
2) 中流右岸域の特性

中流右岸域の特性

- 【後背地】 左岸域に比べて事業所が多く、住宅地の集積が少ない
- 【アクセス】 鉄道路線や幹線道路から距離が離れ、公園と後背地が道路で分断されている
- 【公園形状】 公園地区の連担性が低く、単独で立地している
- 【公園施設】 左岸の公園と比べて運動施設が少ない

上記の特性等から、他の地区と比べて公園利用者数が少ない

1地区あたり年間平均利用者数



中流右岸域の課題

3) 中流右岸域の課題

1) 広大だが利用が少ない施設が存在する

…現状のニーズとのミスマッチが生じており、様々な利用を受け止められる空間への利用転換が必要

公園利用の
動機づけ

2) 相次ぐ出水により、長期間使用できないスポーツ施設が存在

利用上の
障害の除去

3) 安全で円滑なアクセスの確保

…自動車や徒歩など、どのような手段でも来園しやすい環境の整備

中流右岸域における「誘導」に係る検討テーマ

検討テーマ①

利用したくなる公園づくり

検討テーマ②

迷わず行ける公園づくり

5

中流右岸域の課題

4) 課題への対応策

●これまでの動き

大塚地区をモデルに、後背地域から公園への安全な動線の確保のあり方を、地域住民と河川レンジャーが主体となって検討。

課題

- ・交通量の多い道路による公園と居住地の分離
- ・見通しの悪く、道路横断が危険な箇所が存在



大塚地区の堤防道路



近隣の幼稚園児の道路横断

対策

- ◆河川レンジャー・地域住民が主体のワーキングを開催(高槻市、淀川河川事務所が支援)



- ・見通しを確保するため、背丈の高い雑草から背丈の低いイワダレソウへの転換により、定期的な草刈りを行わなくても安全な道路横断が可能



イワダレソウ



保育園児の河川公園への移動ルート



6

4) 課題への対応策

検討テーマ① 利用したくなる公園づくり



利用者が少ない広大な草地
(一津屋野草地区)



利用者がほとんどいない
ローラースケート場
(鳥飼上地区)

右岸側には、利用頻度が少ない広大な空間を有する地区が存在している



広大な空間と水辺の景観を有効に活用した河川公園の利用方法を提案

検討テーマ② 迷わず行ける公園づくり



河川公園の表示がない
一津屋野草地区の入口



河川公園の表示がない
三島江地区の入口

公園入口の案内表示がなく、初めての来園者が入口を見つけることが極めて困難になっている



淀川河川公園の入口であることが車のドライバーにわかる案内サインの整備

現状

対策

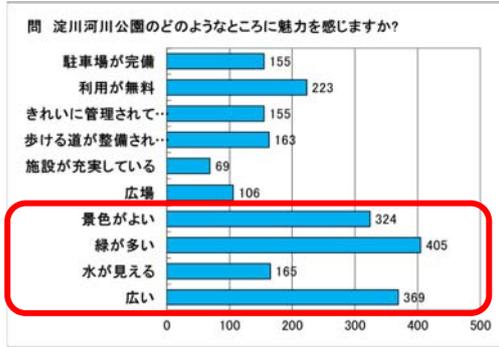
②利用したくなる公園づくり

利用したくなる公園づくり

1) 中流右岸域の特性を活かしたアピールポイント

●利用者のニーズ

- ・淀川河川公園の利用者は景観・緑・広大な空間に魅力を感じている



●中流右岸域の特性(強み)

- ・広大な空間が広がっている
- ・対岸の景色がよい
- ・水面が見える
- ・緑が多い
- ・駐車場がある



●競合関係にある淀川周辺の公園特性

- ・水辺の景観を楽しめる公園は少ない
- ・丘陵地や山地に近い立地条件の公園が多い
- ・大規模な公園は淀川河川公園から遠い
- ・バーベキューが楽しめる公園が少ない

●中流右岸域の特性(弱み)

- ・後背地は事業所が多く、住宅地が少ない
- ・後背地と公園が道路で分断されている
- ・公園が鉄道や幹線道路から距離が離れている
- ・公園地区が単独で立地している
- ・左岸の公園と比べて運動施設が少ない

中流右岸域の公園を利用したくなるためのアピールポイント



『雄大な水と緑の景色を眺めながらBBQや野外イベントを楽しめる公園』

利用したくなる公園づくり

2) 「利用したくなる公園」のモデル事業・対象地区(案)

近年、河川公園の他の地区でもBBQ利用のニーズが高まっている。利用促進の実験的な取り組みとして、**景観の良い津屋野草地区をモデルに、バーベキューエリアを設定**。ニーズが高まれば、臨時駐車場を設置する等の取り組みも検討。安定した利用により知名度も上げてゆき、持ち込みイベントの実施にもつなげていく。



上流右岸の島本地区では、地域のニーズを踏まえ、平成30年10月からBBQエリアの試行的運用を実施中。多くの方に喜んで頂いている。



持ち込みイベントのイメージ例：
アウトドアクッキング体験(背割堤秋の満喫プラン) 10

利用したくなる公園づくり

3) 「利用したくなる公園」のモデル事業・対象地区A(案)

一津屋野草地区へのバーベキューエリアの設定、駐車場拡張



利用したくなる公園づくり

4) 「利用したくなる公園」のモデル事業・対象地区B(案)

鳥飼上地区のローラースケート場や休止中のテニスコートを、多目的広場や臨時駐車場へ転換



【参考】大阪北部地震における淀川河川公園の利用要請

- ・大阪ガスは、高槻市域のガス復旧作業のため全国に応援を要請。
- ・淀川河川事務所への駐車スペース提供依頼に対応し、大塚地区の臨時駐車場等を提供。
[期間:平成30年6月20日(水)~22日(金)]



全国から集結した事業者の多数の作業車両



淀川河川公園駐車場における作業車両の駐車状況



駐車場から復旧現場へ向かう車列

③ 迷わず行ける公園づくり

迷わず行ける公園づくり

1) 公園入口がわかりづらい地区

① 一津屋野草地区

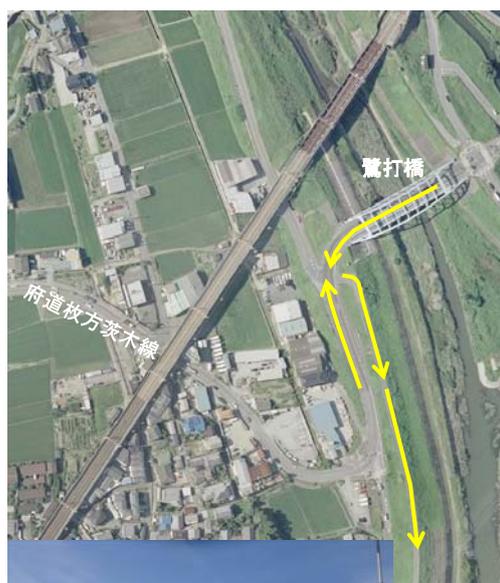


上流側、下流側のどちらから見ても、公園入口であることが分かるサインは存在しない

迷わず行ける公園づくり

1) 公園入口がわかりづらい地区

② 三島江地区・三島江野草地区



上流側、下流側のどちらから見ても、公園入口であることが分かるサインは存在しない

2) 案内サインの設置案

一津屋野草地区、三島江地区・三島江野草地区の入口への案内サインの設置

一津屋
野草地区



三島江地区
・
三島江
野草地区



3) 公園への進入路が日により異なる地区
大塚地区

日曜・祝日(7:00~19:00)
は、大塚地区付近の堤防
道路は通行止め規制区
間となっている

また、この区間は制限速
度が30km/hとなっている

平日・土曜日、日曜・祝
日では公園入口の位置
が異なるが、表示がわ
かりにくい



4) 誘導サインの設置(更新)案

大塚地区へ迷わず・間違えずに行ける公園入口の案内・誘導サインの設置

大塚地区

日曜日・祝日のみの公園入口



平日・土曜日の公園入口



日曜日・祝日／平日・土曜日
の入口が見てすぐに判別できる
ように案内表記の内容を見直す